

阿久比町第5次総合計画について

住民本位のまちづくりをめざす



竹内 松彦 議員



開発前の陽なたの丘（宮津・板山地区）



現在の陽なたの丘

Q

10年に1度の阿久比町の将来計画の見直し。町民にとって、とても大切なことと思う。住んでよかった・住んでみたいまち・子どもを安心して生み育て、老後はやすらぎをもって過ごせるまちづくりを計画しなければならぬ。

A

①住民本位のまちづくりに向け、住民の皆様が参画した新しい総合計画を策定する。そのため、住民アンケート調査、まちづくり懇談会などを実施し、住民・地域の意見や要望・提言などを聴き、計画に反映する。②人口は、増加すると考えている。土地利用は、無秩序な開発に走らず、慎重に進める。③知多地区広域行政圏協議会において、「知多は1つ」の理念から、様々な課題を検討していくので、その旨記載する。

Q

交通災害共済の廃止にともなう掛金の残金で購入が決まった4台のパトロール車の有効利用を望む。

A

①貸し出しと運転する場合の基準を設けている。
②車検・点検・燃料費は総務費・全体経費の中で、保険は任意保険に加入する。
③学校が使用する場合は学校・教育委員会、それ以外は防災交通課で対応する。

安全・安心パトロール車について 効率のよい利用計画を



各小学校に1台配備